



ふくおか【Good👍】農業人100

主な農産物／米、ブロッコリー、スイートコーン、ホオズキ

尾家 正人さん (36歳) (営農地／豊前市岩屋地区)

農業でつながる家族の絆

《就農のきっかけ》

進むべくして進んだ就農への道

農家の家庭に生まれた尾家さん。特に意識することなく、“農業”という仕事が身近だったと言います。「小さな頃から父の背中を見て育ったので、きつい農作業も当たり前のように感じていましたね。」

県農業大学校を卒業後、自分を育ててくれたご両親の仕事に誇りを感じ、迷わず就農の道を選びました。お父さんから譲り受けた米栽培の技を核として、少しずつ経営の幅を広げてきました。「一年を通して完璧な人はいないと思うんです。毎年どこかで必ず失敗する。何が原因だったんだろう、じゃあ次はこうしてみようって、常に改善していく面白さがありますね。自分で考えながら、また挑戦していく。農業はメチャクチャ面白いですよ!」

《これまでの過程》

父との衝突が私の原点

「父は稲作や農業の基本を教えてくださいました。ただ、なぜそうなのかが納得できない内容もありました。本当にそうなのかを疑って、色々考えて自分なりにやってみて、それで失敗したっていいんです。痛い目に合ったら、もう二度と繰り返さないじゃないですか。でも、そうやって父の言うことを聞かないもんだから、はじめはよく衝突しましたね。」就農当初の思い出を懐かしそうに語る尾家さん。それでも今は父に感謝していると言います。「スムーズに就農できたのは、実家から機械や土地を譲り受けられたから。いま自分で機械を買うために借金してますけど、あらためて両親のありがたさが身にしみます。」

今でも特に成功したという実感は無い、と謙虚に話す尾家さんですが、米4haの他、スイートコーンやブロッコリーなど新しい農作物も安定した収量・品質です。

高齢化が進む中、地域農業を守る大切な担い手として頑張っています。



プロフィール

- 家族構成／本人、妻
- 営農年数／約16年
- 耕作(経営)面積／水稲4ha、野菜・花卉2ha、米の乾燥調整25ha
- 販路／JA共販、直売、直売所

《これからの展望》

農業で家族を守る

「いま力を入れているのはホオズキ。去年は小面積だったけど、結構良いものが作れたと思うんです。良い仕事が出来ると充実感があるし、ホオズキは利益率が高いのも良いところだね。今年はまだもう少し面積を増やしたい。」

農家としての技術を誇りとする一方で収益についても触れたのは、最近結婚したからだと言います。「妻と生活するようになって、家族を守る責任を感じるようになった。これからは自分ひとりじゃないんだと、よく感じるんだよね。」

独り身の気軽さが恋しいと冗談を交えて語る尾家さんですが、家族のことをとても大切にしている人だと思いました。



Good👍 成功のためのポイント

成功と失敗は紙一重。そのボーダーラインを見つけ出すのがポイントです。そのためには、右から左に仕事を流すのではなく、1つ1つの作業の意味をしっかりと考えながら仕事と向き合うことが大切だと思います。